

【事業概要】

# サンゴ礁再生海域における生物相のモニタリング調査 (サンゴ礁保全再生地域モデル事業)

秋田雄一\*

サンゴ礁保全再生地域モデル事業は、環境部自然保護課が沖縄振興特別推進交付金により、サンゴ種苗の低コスト生産技術の開発や、サンゴ種苗の生産、植え付け、環境保全活動、環境教育等を一体化し、自律的に運営できるサンゴ礁保全再生地域モデルを構築するものである。

本研究では、潜水観察による魚類層調査や、野外実験による藻食性魚類の摂餌行動調査および漁獲統計等の分析により、サンゴ礁再生の阻害要因のうち、陸域からの土砂の流入や、漁業活動といった、人為的な作用について評価することを目的とした。

本研究における野外調査は、2018年までに完了したため、2019年度は成果のとりまとめと対外的な発表を行った。

## (1) 成果の発表

得られた成果情報について、対外的に発表するとともに、論文・報告書等に取りまとめる際の議論を深めること、また情報交換のため、表1の会議・研究集会に参加した。なお、本研究の成果は、Akita et al. (2022) にて報告した。

## 文 献

Akita, Y., Kurihara, T., Uehara, M., Shiwa, T., & Iwai, K, 2022: Impacts of overfishing and sedimentation on the feeding behavior and ecological function of herbivorous fishes in coral reefs. Marine Ecology Progress Series 686, 141-157.

| 日時                    | 会議名                  | 開催場所        | 結果の概要                                                                                                                          |
|-----------------------|----------------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2019 年 9 月<br>20～23 日 | 2019 年度日本魚類学会年会      | 高知大学朝倉キャンパス | 当該期間に成果をまとめたポスターを用いて発表した<br>(サンゴ礁生態系における藻食性魚類の生態的機能に関する研究<br>Functional role of herbivorous fishes on coral reef environment). |
| 2019 年 10 月<br>4 日    | 西海区水産研究所亜熱帯研究センター交流会 | 水産海洋技術センター  | 当該期間に成果をまとめやパワーポイントにより口頭発表した<br>(サンゴ礁生態系における藻食性魚類の生態的機能に関する研究)                                                                 |

\*E-mail : akita@pref.okinawa.lg.jp 本所（現所属：沖縄県水産海洋技術センター普及班）